

こんにちは

日本共産党堺市議会議員

げん中みおこです



09年4月 市政報告 No.21

■日本共産党堺市議団控室

TEL 072-228-7261

■議員団泉北ニュータウン連絡所

TEL 072-234-0221

FAX 072-234-8759

■ホームページ

<http://gennaka.jcp-web.net/>

政令市一高い 水道料金・介護保険料引き下げで!

市民の強い願い! 一歩前進

上水道料金 平均3.9%引き下げ

H14年に上水道料金の値上げ、H12年、15年、18年に下水道料金の値上げが行われ、「堺の水道代は高い」と多くの市民が感じています。

その高い水道代(上水道料金)が、8月から平均3.9%引き下げられることになりました。

上水道料金

H14年の値上げ以降6年連続の黒字、22億円の純利益という状況からすれば値下げは当然です。引き下げにより、今後4年8ヶ月で31億円の減収となってもなお毎年黒字になる見通しで、いかに高かったかを示しています。

下水道料金

H15年度までは一般会計から40億円程度の基準外繰り入れをしていましたが、H16年に11億円に減額し、それ以降減額のままです。基準外繰り入れを増額すれば下水道料金の引き下げが可能です。

さらに、大阪市などでも実施している福祉減免(高齢者や障害者世帯への減免)も実施すべきです。

介護保険料 5%引き下げ

今年は3年に一度の保険料見直しの年、第4段階基準額で月額5,092円から4,836円に5%の値下げとなります。

第4段階(本人非課税で収入80万円以上かつ世帯課税)

第2期 (H15~17)	第3期 (H18~20)	第4期 (H21~23)
3,700円	5,092円	4,836円
	37%値上げ	5%値下げ

国の政策のもと、要支援を増やし、サービスを使わせないようにしたこと、3年前に保険料をあげすぎた(37%)ことで、介護保険の財政状況は良好です。

高い保険料に加え、高い利用料が「保険あって介護なし」の状況を生み出しています。5%引き下げても、なお政令市で一番高い介護保険料。

保険料の更なる引き下げ、減免制度の拡充、利用料減免制度の創設は市民の強い願いです。



市民の暮らしに大きくのしかかる水道料金・介護保険料、そして国民健康保険料の引き下げを求める運動を大きく広げましょう。



げん中みおこ
略歴

1970年堺市生まれ/堺市立晴美台小・中学校卒、大阪市立工芸高校(美術科)卒、大阪千代田短期大学(幼児教育科)卒/学童保育指導員/市議2期、文教委員、都市魅力・観光文化対策特別委員

保育・学童保育の充実を！



美原にし保育所、美原子ども館を見学しました。美原にし保育所は、もともと180名定員でつくられた保育所です。当時(02年)の考え方に基づき、間仕切りがないオープンスペースが特徴です。しかし、待機児解消に対応するため、定員を250名まで可能としました。さらに円滑化によって280名あまりの子どもが入所しています。広い間仕切りのない保育室で、ロッカーやカーテンで区切り、グループ保育をしていました。

保育士さんの工夫や努力で対応されていましたが、声や音が響き子どもたちがひしめき合っているという状況で、感染症が発症すればアツと言う間に広がるのではないかと心配せざるを得ない実態を目の当たりにしました。

このことについて、堺市は「順次、保育室の間仕切り工事を実施し、保育環境の整備を行う」としています。早急な整備を求めました。

市長は新年度の予算説明で「不況対策とともに子育て支援などに特に意を用いた編成をおこなった」と述べました。新年度、保育所待機児は4月時点で1000名(旧定義)、安心して子どもを育てられる状況ではあり

ません。「子育て支援」というなら保育所を増設し待機児の解消、保育施策の充実こそ求められています。

児童館は子どもたちの憩いの場

美原区にある子ども館(旧児童館)は、各小学校に隣接してあり地域の子どもたちが自由に遊べます。視察に行った「やかみ子ども館」は隣に広い公園もあり、子どもたちにとって安心して遊べる場となっています。子ども館の一室で学童保育(美原児童会)もおこなわれています。

堺市の学童保育施策は、旧美原町時代からの児童会と美原区以外ののびのびルームの一市二制度になっています。児童会は保育料が4,000円、のびのびルームは8,000円におやつ代2,000円。高い保育料が払えず入所できない子どもが増えていることも問題になっています。

大阪府下でも高い保育料となっているのびのびルームの保育料を引き下げ美原児童会並みに！そして、子育て環境が悪化する中、安心して遊べる美原区の児童館を全市に広げることこそ求められていると感じました。



妊婦健診 公費助成 5→14回に拡充

妊婦健診の公費助成が5回から14回に拡大されました。

あわせて、里帰り出

産(4月以降の大阪府外での受診)でも利用できるようになりました。

受診票は母子手帳と同時に保健センターで交付。すでに母子手帳の交付を受けている妊婦さんは、保健センターで追加の受診票が支給されます。

問い合わせは南保健センター

南保健センター TEL 293-1222



「ホームレスの人が気になって…」と手紙をいただきましたが、連絡先がわからずお返事できません。

事務所宛に「〇〇駅前で路上生活している人のことが心配。なんとかできないか。」との手紙をいただきました。行政担当者とも相談し対応していることを、この紙面で報告させていただきます。

LRT よりも全市交通体系の整備を！

堺市は、堺東駅からシャープ工場予定地のある臨海部までのLRT(東西鉄軌道)の基本計画案を発表しました。LRTは総額425億円(●堺東→堺駅 約85億円●堺駅→臨海部 約280億円●阪堺電車のLRT化 約60億円)という税金を注ぎ込む大規模事業です。

本当に必要？

堺東から堺駅のわずか1.7kmは「シャトルバスがあり便利なのに鉄道を敷く必要があるのか」と、市民から疑問の声が出されているようにLRTを建設しなければならない理由は見当たりません。また、堺駅から臨海部の5.2kmは住む人のいないところへ向けてです。臨海工業地帯への通勤手段を目的とすることは公共性が問われます。

市民に納得のいく説明を！

この事業は莫大な税金をつぎ込み堺市財政にも大きな影響を与えるものです。LRT建設予定地での住民説明会が開かれていますが、全市民にかかわる問題で全市で説明会を開催すべきです。南区でも開催するよう求めていきましょう。

ニュータウンの公共交通の充実も

市内の公共交通を考えるなら、「地域公共交通総合計画」をつくり、泉北ニュータウンの巡回バスや高い泉北高速鉄道の都心部への運賃体系の改善、全市におけるオンデマンドバスなど、住民の交通確保の施策を位置づけるべきです。

『お金の心配なく学びたい！』

経済的事情で退学する生徒を出さないことは政治の責任！



いま、高校進学率は97%。しかし、授業料を払えず中退する生徒も少なくありません。

全国調査によると、私立高校授業料滞納者数は前年の3倍、2万4490人にもものぼっています。経済危機による収入減や「派遣切り」で貧困と格差はいつきに深刻化しています。

滞納すれば卒業証書を渡さないという動きも出ています。学費滞納を理由にした退学・除籍は、子どもたちの教育を受ける権利を無視した措置です。いま、政治に求められているのは、子どもたちの「学びたい」という気持ちを応援することです。全国には、学費滞納に対して退学・除籍とせず、支払い猶予などで生徒を守る自治体があります。やる気があればできることです。

堺市の奨学金は月額3,000円(美原区4,000円)。近隣の大阪市10,900円、京都市12,000円と比べても少ない奨学金となっています。奨学金を必要とする家庭は増えています。H20年度も2762人が申請していますが1022人しか採用されていませ

ん。奨学金を必要としているのに1740人が受給できないのです。制度の拡充は緊急の課題です。

**学費が払えず
高校卒業、入学できない若者を
1人もださない
日本共産党の緊急提案 (3月11日発表)**

○学費滞納を理由にした退学・除籍をやめ、高校生救済貸付制度を創設するなど、学費が払えず卒業・入学できない若者をなくすこと
○国と自治体の責任で授業料減免と奨学金を拡充し、交通費補助制度をつくることなどを提案し運動をよびかけています。



子育て奮戦記 No.14 指吸いはダメ!?



妊婦健診の助成拡大、ホントにうれしい。初めて「助成拡充を!」と議会で取り上げたのは娘が生まれて間もないころ。ご近所ママたちの「2人3人と子ども産みたいけどお金がかかり過ぎる」という声を聞いたのがきっかけだった。当時の公費助成は1回。それが2回になり5回になり今回14回助成されることになった。安心して子どもを産み育てるように今後も頑張りたいと思う。



ワクチンで救える命

ヒブワクチンに公費助成を!

昨年12月19日、子どもの「ヒブ髄膜炎」を予防する「ヒブワクチン」の接種が可能になりました。07年9月堺市議会でも国に対して「ヒブワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書」を全会一致で採択しており、国内での接種が可能となったことは歓迎すべきことです。

ヒブ髄膜炎は初期症状が風邪や急性胃腸炎のありふれた疾患との区別が難しく、発症すると急速に病状が悪化し、約5%が死亡、25%に後遺症(聴覚障害や発達遅延など)が残ると言われています。

欧米では、90年代からヒブワクチンが導入され、今やほとんどの先進国でヒブによる重症感染症は

なくなり「過去の病気」とまで言われるようになりました。

ワクチン接種に寄せる期待は高まっていますが、定期接種でないため、1回7,000円程度、基本4回接種なので親の負担は大きくなります。そんな親の負担を軽減するために、独自の助成制度を実施する自治体が出てきています。(下記表・すべてではありません)

自治体名	実施時期	補助額
鹿児島市	H 20. 12. 19	1回 3,000円
宮崎市	H 20. 12. 19	1回 2,071円
清武町	H 20. 12. 19	1回 2,071円
国富町	H 20. 12. 19	1回 2,071円
綾町	H 20. 12. 19	1回 2,071円
品川区	H 21. 4. 1	1回 3,000円
荒川区	H 21. 4. 1	1回 3,500円
中央区	H 21. 4. 1	1回 4,000円
渋谷区	H 21年度~	1回 3,500円
大田原市	H 21. 4. 1	1回 5,000円
長浜市	H 21. 4. 1	1回 2,000円

しかし、堺市は「予防接種法の対象として位置づけられていないヒ



ブワクチン接種に現段階で公費助成する状況でない」と、冷たい態度です。ワクチン接種で救える命がある…親ならば接種したいと思うのは当然です。

共産党市会議員団は、国に対して早期定期接種を求めるとも

げん中みおこは、日本国憲法守り・いかにします!

第9条 (戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認)

- ①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- ②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

